

プロデューサー養成

エコツアー商品開発



環境への関心の高まりに伴い、エコツーリズムやグリーンツーリズムが増えている

エコツーリズムを推進する特定非営利活動法人(NPO法人)の日本エコツーリズム協会(略称JES、東京・品川、愛知和男会長)はエコツアーの商品開発や市場開拓を手掛ける「プロデューサー」の養成事業を始める。エコツアー開催地での講義と

JES

実習が柱で、修了者には修了証を発行する。第一回講習会を鳥取県米子市で三月に開く。先行実施するガイドやコーディネーターの講習とも連携。人材育成面でエコツーリズム普及に弾みを付ける。

推進法来月施行 地域振興に弾み

ある人を対象とする。三日間前後かけて実施。参加費用は講習代、テキスト代などで、宿泊費を除いて三万円前後を見込む。講習内容はエコツーリズムの一般的知識や環境保全のあり方、エコツアーと地域振興のかかわりなどに加え、市場動向やプロデューサーの役割、先行商品・地域の事例などを整機能を担うコーディネーターの養成を二〇〇七年、実際にツアーに同行するガイドの講習を〇五年にそれぞれ始めていた。今回はそれに続く養成講座で、三つの役割を連携して地域が事業を推進できるようにする。

始めるのは「エコツアープロデューサー養成講習会」。同協会が主催するか、地域のエコツアー

プロデューサーはエコツーリズムを推進する地域などでツアーの商品化やマーケティングを担当する。JESは同講座に先駆け、地元関係者の調整機能を担うコーディネーターの養成を二〇〇七年、実際にツアーに同行するガイドの講習を〇五年にそれぞれ始めていた。今回はそれに続く養成講座で、三つの役割を連携して地域が事業を推進できるようにする。

自然や歴史など地域固有の資源を生かした観光振興を進めるエコツーリズム推進法が四月施行されるのを受け、国内各地でエコツアーを事業化する動きが加速している。JESは人材育成面でこうした取り組みをサポートし、地域資源の保全と地域振興を促す。

第一回の講習会は、鳥取県の大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会の主催で、同県米子市で三月十日から三日間実施する。JESが運営を受託する格好で、日本旅行業協会などが後援する。JESは今後、主催と運営受託の両面で講習事業を展開する考えだ。

自然や歴史など地域固有の資源を生かした観光振興を進めるエコツーリズム推進法が四月施行されるのを受け、国内各地でエコツアーを事業化する動きが加速している。JESは人材育成面でこうした取り組みをサポートし、地域資源の保全と地域振興を促す。